

職務経歴書

氏名

戸田 康隆 (Yasutaka Toda)

職務経歴（概要）

ソフトウェア開発

- Web アプリケーション開発
 - PHP、Java、Ruby あわせて 10 年以上
 - 6 年以上、アーキテクトとして、新規システム構築やシステム更改のアーキテクチャ設計・構築

発注者支援

- プロジェクトマネジメント支援
 - 暗礁に乗り上げた基幹システム更改の立て直し計画立案、進捗管理、リリースまで支援
- エンジニアの教育・育成
 - 若手エンジニアの研修プログラム作成と実施

社内業務改善

- 開発標準の更新
 - 最新のフレームワークへ乗り換え、CI 導入、テストコード作成推進、ローカル開発環境の Docker 化、など
- 社内システムの改善

スキル

IT以外の保有資格

- 税理士試験科目合格（簿記論、財務諸表論）
 - 消費税法学習中
 - 2022年4月より税法2科目免除のために、事業創造大学院に通学（オンライン通学）
- 宅地建物取引士

バックエンド

- PHP
 - Laravel
 - アーキテクトとして新規構築から担当
 - バージョン 5.5 から 6.0 まで段階的に upgrade
 - PHPUnit による Feature と Unit テストを実装
- Python
 - AWS Lambda におけるバッチ処理作成
 - AWS API Gateway + AWS Lambda にて、REST API の endpoint 作成
 - scikit-learn

- 機械学習（教師あり学習）
 - データ取得、特徴量作成、モデル作成、予想結果出力を自動で行うシステムを独自に構築
- スクレイピングして Slack 通知アプリ作成
- Ruby
 - Ruby on Rails
 - バージョン 5.2
 - RSpec によるテスト実装
- Java
 - SpringBoot
 - Java EE
 - バージョン 6 と 7。特に 6 では、古い独自フレームワークから JavaEE6 への移行を担当した
 - Seaser2

フロントエンド

- Vue.js
 - Vue.js + Laravel の SPA の設計・開発
- Backbone.js
 - Backbone.js(Marionette.js) + CakePHP の SPA の開発

その他

- Docker
 - Laravel や Ruby on Rails のローカル開発環境を Docker に移行
 - 本番環境用 Docker コンテナ作成
- AWS
 - EC2, RDS, ALB, Route 53 を用いて、Multi-AZ 構成で Web システムを配置
 - Amazon ECS を用いて、Docker コンテナ化された Laravel の Web アプリをサーバーレスで配置
 - AWS API Gateway + AWS Lambda にて、REST API の endpoint 作成
 - AWS CloudFormation や AWS SAM CLI を使用したインフラ構築やデプロイ
- UML
 - エンドユーザーの要求分析、要件定義、またシステムのアーキテクチャ設計に UML を活用

強み

- フロントエンド、バックエンド、インフラ（クラウド）のすべての分野にて設計、開発、テスト、リリースまで担当できる。
- 人前での話や会議のファシリテーションが得意。
- プログラミングに限らず、恒常的に知識をアップデートしている。
- 不動産賃貸業の法人を5年以上経営しており、実践に基づいた経営についての知識を保有している。

職務経歴(詳細)

2020/04 - 現在: 株式会社 Everforth

職務: IT アーキテクト

2020/04 より週 2 日で勤務

自社サービス開発

EC サイトのバックエンドを担当

- AWS Lambda におけるバッチ処理作成 (Python, Scala)
- AWS API Gateway + AWS Lambda にて、REST API の endpoint 作成
- Scala にて、Web アプリケーションのバックエンド開発

2016/05 - 現在: アドット・リアルティ合同会社

私が代表を務める不動産賃貸業の法人。

札幌近郊で居住用アパートや戸建てを賃貸している。

2017/10 - 2020/09: 株式会社アクシア

職務: Web アプリケーションエンジニア、IT アーキテクト、業務改善

2020/04 - 2020/09 の期間は週 3 日で勤務

自社サービス開発

プロダクトのリーダーとして、BtoB の自社サービスを設計、開発、運用している。

- Vue.js + Laravel の SPA にて構築
- Amazon ECS を用いて、Docker コンテナ化された Laravel の Web アプリをサーバーレスで配置
- AWS CLI にて、本番環境リリースの簡略化

業務改善

社内の業務の品質や効率を上げるための活動を継続的に行っている。

- 開発標準の更新
 - 最新のフレームワークへ乗り換え、CI 導入、テストコード作成推進、ローカル開発環境の Docker 化、など
- 自社システムをアジャイル開発にて改善
- コミュニケーションツールとして slack を導入
- 社内の知識共有のため、[Growi](#)を用いた社内 wiki を構築
- 睡眠不足による生産性の低下を可視化する Web サイト構築: [生産性睡眠グラフ](https://sleep.axia.co.jp/) (https://sleep.axia.co.jp/)
 - 参考: [睡眠時間を削ると人間はバカになる](https://axia.co.jp/2018-07-30) (https://axia.co.jp/2018-07-30)

受託開発

PHP, Java, Ruby にて、様々なお客様の Web アプリケーションの受託開発を行っている。

- インフラを含めたシステム基盤から構築
- 新規システムの構築や、他社が開発したシステムを引き継いで改修もある
- お客様との打ち合わせもリモートで参加
- 常に複数のお客様の開発を並行して実施

2015/10 - 2017/10: ピースミール・テクノロジー株式会社

職務: IT アーキテクト（発注者支援として活動）

農業/営農支援システム開発

生産性や経営の分析を行う帳票フレームワークの基盤と各種帳票の開発。また、顧客の若手のエンジニア教育。

- 帳票フレームワーク (JavaEE7) の基盤の設計・開発
- 若手エンジニアの研修プログラム作成と実施

製造業/業務基幹システムの再構築

使い勝手が悪く、半分以上機能が使用されていない業務基幹システムを、限られた期間と予算の中で、最低限使えるように改善する。

- 顧客のシステム課の支援として、要件定義（AsIs と ToBe の定義）
- 基本設計、進捗管理、総合テスト支援

2009/04 - 2015/09: 株式会社北海道 CSK

職務: Web アプリケーションエンジニア、IT アーキテクト

流通小売業/基幹システムの再構築

基幹システムの再構築プロジェクト。フレームワーク刷新や各種 HW, MW のバージョンアップ、入替など

- アーキテクトチームリーダー
- 独自 Java フレームワークから、JavaEE6 (WebSphere) への移行。設計から実装・リリースまで担当
- SOA (WebSphere) を用いて、サービス間を連携。

アパレル/EC サイト新規構築

アパレルの EC サイトパッケージのアドオン開発。デザイナーが作成したデザインを用いた UI 開発や、クレジットカード決済用の Restful WebService の開発。

- プロジェクトリーダー
- Java / Oracle DB
- クレジットカード決済用の Restful WebService のアーキテクチャ設計・開発

2007/04 - 2009/03: 株式会社日本総合研究所

職務: Web アプリケーションエンジニア

クレジットカード Web サイト保守開発

- 設計・開発・テスト担当
- Java / Oracle DB

自己PR

活動実績及び経歴

私は大学と大学院で、機会工学について学びました。研究内容は、カーボンナノチューブとアルミニウムの複合体の剛性や熱伝導性についてです。その研究にてプログラムを使用した熱伝導性の解析が興味深かったため、IT系の企業に就職しました。

大学院卒業後から現在まで、一貫してITエンジニアとしてキャリアを積んでいます。設計から開発・運用まで全ての行程を手掛けることができるフルスタックエンジニアとして、システム開発やウェブ開発などのエンジニアリング業務を行っています。具体的には、自社の新サービスの要件を定義し、アーキテクチャ（構造）を考え、プログラミングしてサービスを形にしています。さらに運用していく中で、新しい機能を追加や、既存の機能の改善を行っています。

また、2016年よりITエンジニアと平行して、不動産賃貸業の会社を立ち上げました。私個人の会社ですが、5期を経過して順調な経営状態を保つことができています。不動産の売買や賃貸借の仲介といった不動産取引を行う場合、その土地や建物について専門知識の説明が必要になるため、宅地建物取引士の資格を取得しました。これまでの社会人経験において、私が注力してきたことは以下の2点です。

1. 知識とスキルを主体的に習得する姿勢の持続

自ら新しい技術を使用するプロジェクトに名乗りを上げ、スムーズにリリースまで遂行した実績があります。また、自ら学ぶだけでなく、社内勉強会を開催するなど、周りの技術力やモチベーションアップに貢献しました。

2. 作業効率を意識し、本質を捉えたタスク整理

担当プロジェクトにて、自身、またはプロジェクトメンバーの作業時間を短時間に収めております。長時間労働がよく見られるこの業界において、月平均残業時間を大きく抑えることができています。プロジェクトの進捗管理においては、ITツールを導入してゴールまでのステップを可視化しています。情報を一元管理し、メンバーとのコミュニケーションを密に取ることで、効率的にプロジェクトを運営しています。

このようにITエンジニアとして働く中で、会計や税理士業務のIT化について興味を持ちました。単純な作業は自動化されるかもしれませんが、個々に合わせたコンサルティングや顧客対応等、人間だからこそ可能な業務がたくさんあると感じ、税理士を目指しました。2021年1月より学習を開始し、8月の試験で簿記論と財務諸表論を取得しました。社会人経験で培った上記の姿勢を活かし、税務の専門家として活躍できる税理士を目指し、邁進したいと考えています。

キャリアプラン

私は税理士として、中小企業を会計・財務とITの両面でサポートしたいと考えています。さらに後には、会計・税務専門のITサービスを開発し、税務をより身近なものにしたいです。2021年9月にデジタル庁が設立され、今後は会計・税務においてもさらにデジタル化が進むことは明白です。税務で国や地方と連携するために、中小企業においてもシステム化が必要になると考えられ、エンジニアとしての経験を活かし、サポートしたいと思います。また、税理士の業務は、仕訳の入力、試算表の作成など作業的なことから、クライアントの提案を考える思考的なことまでさまざまです。作業的な業務にかかる時間は効率化により短縮して、付加価値がある仕事に時間をかけられるよう努めています。

今までの私のITエンジニアとしてのキャリアにて、アプリケーションやクラウドインフラまで一気通貫したシステム構築を行うスキルと、企業内のシステム開発にて、開発者と発注者の間を繋ぐスキルを身につけました。さらに税理士になり、会計・税務の知識を身につけることで、どういう部分でデジタル化が必要であるかについてより理解でき、ITの専門知識を備えた税理士として、クライアントに対して価値を提供できると考えています。具体的なサービス例として、以下の内容が挙げられます。

- 企業にて入力された会計データに基づき、収支予想と税金予想を行い、リアルタイムに税理士や金融機関と連携する
- 会計、税務にて行うべきタスクがシステムから通知される（企業、税理士双方に）
- 税務署から否認されそうな会計データをAIで検知
- 属人化しがちな税理士のタスクを、手間を掛けずに事務所内に共有する仕組み

このように、ITスキルを活かした税理士として新たな事業を立ち上げたいと考えています。税理士に求められるスキルや役割は時代とともに変化していると思います。税理士として事務作業の代行のみを行うのではなく、そこから見える今後の事業展開のサポートを行い、クライアントの期待に応えたいです。税務でわからないことについて、法に照らし合わせて判断することはAIでも可能です。しかし、イレギュラーなことをどう処理するかは人間の柔軟な判断力が求められます。依頼者の事情に寄り添い、最適な方法を示すことこそ、税理士の価値といえます。これまで培った社会人経験とを活かし、時代に適応した税理士として社会に貢献したいと考えています。

課外活動

機械学習を用いた競馬予想アプリ開発

機械学習(scikit-learn)を用いて、JRA の馬券買い目を予想するアプリケーションを独自に開発。

- 参考
 - <https://github.com/ystktoda/prediction-jra-horseracing>
 - <https://www.facebook.com/yasutaka.toda.5/posts/1453449221408381>

Raspberry Pi とセンサーを用いた簡易アプリ開発

オフィスの動きを可視化するアプリケーションや、簡易入退室管理アプリを開発

- 参考
 - <https://www.facebook.com/yasutaka.toda.5/posts/1587149391371696>
 - <https://www.facebook.com/yasutaka.toda.5/posts/1412595612160409>